

諏訪南行政事務組合

組合長 柳平 千代一 様

平成 19 年 8 月 2 日

環境ネットワーク茅野

代表 馬淵 毅男

茅野市北山 4353

T E L 0266-78-2965

連絡先

事務局 小林 哲郎

茅野市北山 4035-271

T E L 0266-71-8120

灰溶融施設の断層に関する調査のお願い

日頃より、組合長におかれましては組合運営へのご尽力、市民として感謝申し上げます。

さてこの度、特別委員会において審議中の、富士見町休戸地区に建設が予定されている、灰溶融炉計画については、建設予定地が7月17日に富士見町で全戸配布された土砂災害ハザードマップによると、土石流危険区域となっている。しかも予定地は盛り土で造成されている脆弱な地盤である。先日の新潟県中越沖地震でも柏崎原発が「想定外」の規模の地震によって火災、冷却水漏れがあり少なくとも来年度以降にならないと再開できない状況に陥っている。

環境ネットワーク茅野では、以下の点について文章にて回答を求めます。

1. 建設予定地の断層調査の有無
2. 1で調査しているのであればその情報の公開
どの様な調査で、どの様な「想定」をしているか
3. ハザードマップに土石流危険区域として載っている箇所に何故建設するのか
4. 前回も申し入れしましたが、回答の無い 茅野市における説明会の開催

環境ネットワーク茅野では、以下の事を要望します。

組合は議会に対し説明した限りでは、建設が決まって初めて業者が、断層等の地質調査をしようとしておりますが、それでは順番がまるで逆です。調査の結果、そこに断層があれば、そこには建設出来ないのだから、まず複数の候補地を挙げ、その候補地の地質調査を行い、しかる後に候補地を決定する、と言うのが常道だと考えます。市民の膨大な血税を使い、建設後に、損壊して周囲に多大な被災を起し、又施設は稼働せずでは本末転倒です。組合長もそのことをしっかり考慮のうえ、「想定外」の答弁で逃げなくても良いよう、しっかり審議して頂きます様 お願い申し上げます。

諏訪南行政事務組合 特別委員会

委員長 小平 吉保 様

平成 19 年 8 月 2 日

環境ネットワーク茅野

代表 馬淵 毅男

茅野市北山 4353

T E L 0266-78-2965

連絡先

事務局 小林 哲郎

茅野市北山 4035-271

T E L 0266-71-8120

灰溶融施設の断層に関する調査のお願い

日頃より、委員長におかれましては特別委員会運営へのご尽力、市民として感謝申し上げます。

さてこの度、特別委員会において審議中の、富士見町休戸地区に建設が予定されている、灰溶融炉計画については、建設予定地が7月17日に富士見町で全戸配布された土砂災害ハザードマップによると、土石流危険区域となっている。しかも予定地は盛り土で造成されている脆弱な地盤である。先日の新潟県中越沖地震でも柏崎原発が「想定外」の規模の地震によって火災、冷却水漏れがあり少なくとも来年度以降にならないと再開できない状況に陥っている。

環境ネットワーク茅野では、以下の点について文章にて回答を求めます。

1. 建設予定地の断層調査の有無
2. 1で調査しているのであればその情報の公開
どの様な調査で、どの様な「想定」をしているか
3. ハザードマップに土石流危険区域として載っている箇所に何故建設するのか
4. 前回も申し入れしましたが、回答の無い 茅野市における説明会の開催

環境ネットワーク茅野では、以下の事を要望します。

組合は議会に対し説明した限りでは、建設が決まって初めて業者が、断層等の地質調査をしようとしておりますが、それでは順番がまるで逆です。調査の結果、そこに断層があれば、そこには建設出来ないのだから、まず複数の候補地を挙げ、その候補地の地質調査を行い、しかる後に候補地を決定する、と言うのが常道だと考えます。市民の膨大な血税を使い、建設後に、損壊して周囲に多大な被災を起し、又施設は稼働せずでは本末転倒です。委員長もそのことをしっかり考慮のうえ、「想定外」の答弁で逃げなくても良いよう、しっかり審議して頂きます様 お願い申し上げます。

諏訪南行政事務組合 特別委員会

議員の皆様

平成 19 年 8 月 2 日

環境ネットワーク茅野

代表 馬淵 毅男

茅野市北山 4353

TEL 0266-78-2965

連絡先

事務局 小林 哲郎

茅野市北山 4035-271

TEL 0266-71-8120

灰溶融施設の断層に関する調査のお願い

日頃より、議員の皆様には組合運営へのご尽力、市民として感謝申し上げます。

さてこの度、特別委員会において審議中の、富士見町休戸地区に建設が予定されている、灰溶融炉計画については、建設予定地が7月17日に富士見町で全戸配布された土砂災害ハザードマップによると、土石流危険区域となっている。しかも予定地は盛り土で造成されている脆弱な地盤である。先日の新潟県中越沖地震でも柏崎原発が「想定外」の規模の地震によって火災、冷却水漏れがあり少なくとも来年度以降にならないと再開できない状況に陥っている。

そのような状況下で、茅野市では一度も説明会を開催する事無く、膨大な市民の血税を使う状況になっています。先日の参院選の結果を引き合いに出すまでもありませんが、あまり市民を無視するような進め方をされると、しっぺ返しが必ず待っていることを肝に銘じ審議にあたっていただくようお願い申し上げます。

上記表題に関する申し入れを、組合長、特別委員会 委員長にいたしました。組合に対し確認のうえ、責任のある対応をしていただきます様お願い申し上げます。